

第7回実験動物管理者等研修会の開催について

公益社団法人日本実験動物学会 理事長 浦野 徹
同 実験動物管理者研修制度委員長 久和 茂

(公社)日本実験動物学会(以下、本学会)では動物実験を実施する国内の全ての機関に教育訓練を受けた実験動物管理者を配置できるよう、実験動物管理者の教育訓練を目的とした研修会を平成25年度より定期的に開催しています。受講対象者は本事業の目的から本学会会員に限らず、非会員にも門戸を開放しております。実験動物管理者に求められる基本的な知識や技術をはじめ、動物福祉や関連法令などについて初学者でも解るように解説いたします。今回は要望の多い「機関における動物実験の運営・管理」に関する講義を追加しました。動物実験委員会等に関わる方々にとって、大いに参考になるものと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。プログラム、参加申し込み等については本学会のホームページ (<http://jalas.jp/meeting/seminar.html>) でご確認ください。

日 時： 2016年9月16日(金)～17日(土)

場 所： 九州大学西新プラザ大会議室 AB (福岡市早良区西新 2-16-23)

参加費： 4,000円(会員)、5,000円(非会員である維持会員団体職員)、6,000円(非会員)

定 員： 150名

その他： 受講者には資料を配布、受講修了証を発行

主 催： (公社)日本実験動物学会

後 援： 環境省、厚生労働省、農林水産省、文部科学省など

プログラム

- 講義1 「実験動物管理者」の役割と責任(仮題)
- 講義2 機関における動物実験の運営・管理(仮題)
- 講義3 実験動物飼育施設の環境と動物への影響
- 講義4 施設・設備の衛生管理(清掃、洗浄、消毒、昆虫・野鼠対策、廃棄物処理)
- 講義5 実験動物の導入、輸送、輸出入、記録管理
- 講義6 実験動物の飼育管理(器材、日常管理、飼料、飲水、繁殖、個体管理、環境エンリッチメント)
- 講義7 各種実験動物の特性
- 講義8 実験動物の健康管理(検疫、順化、主な疾病・傷害、感染症予防対策)
- 講義9 労働安全衛生、危機管理
- 講義10 人獣共通感染症とバイオセーフティ
- 講義11 げっ歯類の麻酔、鎮痛、鎮静、試料採取、安楽死
- 講義12 中大動物・霊長類の麻酔、鎮痛、術中術後管理、安楽死
- 講義13 遺伝子組換え動物実験と感染動物実験の規制
- 講義14 社会からみた実験動物(仮題)